

事業所名 縁キッズ 児童発達支援

## 支援プログラム

作成日

2025 年 11 月 8 日

法人（事業所）理念	・小さな要望にも耳を傾け、心を込めて支援します。・どんな時も明るい笑顔と挨拶を欠かしません。・安心安全な環境作りに努めます。			
支援方針	将来的な自立を見据え、身辺的自立、社会的自立、経済的自立を目的とした療育活動を行います。 3つの柱…①食育：調理レク、外食レク、②運動：手先の療育（微細運動）、遊びやリトミック（粗大運動）、③社会交流：お出かけ、公共機関の利用等			
営業時間	学校課業日 10 時 00 分から 17 時 20 分まで 学校休業日 9 時 00 分から 15 時 30 分まで	送迎実施の有無	あり	なし
	支 援 内 容			
本人支援	健康・生活	食 育：食べられる食材や料理を増やす。手洗いや消毒により衛生管理ができるようにする。 運 動：手先の訓練により、ボタンかけ等の日常生活の動きにつなげる。体力向上を促し、健康な体を目指す。 社会交流：お買い物や公共機関を実際に体験することで、自立生活の自信を持つ。		
	運動・感覚	食 育：調理器具を正しく安全に使える手先の能力をのばす。食材によって異なる手の力加減を学ぶ。 運 動：微細運動で手先の感覚を養い、つまむ・つかむ・押す、等の力を身につける。粗大運動では、バランス感覚・筋力・持久力を身につける。 社会交流：町へお散歩に出かけ、歩きにくい場所での歩行のし方を学ぶ。		
	認知・行動	食 育：食材の堅さやにおいに触れる。旬の野菜やメニューに触れ、四季を学ぶ。 運 動：ルールのある遊び（ボールやだるまさんがころんだ等）を行い、空間や数の概念を習得する。 社会交流：社会のルールや情報を取得し、適切な行動を学ぶ。		
	言語 コミュニケーション	食 育：挨拶（例：いただきます、ごちそうさま等）を学ぶ。自分の要望（例：おかわり、苦手です、等）を他者に伝える力を学ぶ。 運 動：チームで協力することで他者との良好な関係を構築する力を身につける。 社会交流：地域を理解し、理解されることで、より生きやすい環境を整える。		
	人間関係 社会性	食 育：集団での食事の楽しみを知る。外出時のマナーを学ぶ。集団で同じ料理を作り、協調性を学ぶ。 運 動：小集団で体を動かすことで共感や仲間意識を育む。 社会交流：お出かけを通じて、金銭のやり取りや公共のルールを学ぶ。		
家族支援		・半年に1回の対面面談により、困りごとやニーズを聞き取る。 ・情報共有（関係機関、教材、関わり方、等）を行い、家族での過ごし方の幅を広げる	移行支援	・児童の発達と特性を把握し、保護者や学校等の連携を図りながら支援している。 ・本人にとって無理のない環境の提案をしていく。
地域支援・地域連携		近隣の大学、福祉施設、商業施設（牧場、駄菓子屋、スーパー、等）との定期的な地域交流を図り、事業所の理解を深めていく。	職員の質の向上	・外部研修・社内研修を定期的に行う。 ・資格取得への研修を積極的に行う。 ・事故報告書・ヒヤリハットと再発防止策を作成し危機管理を高める。
主な行事等		・季節を感じられる行事や制作（お正月、お花見、うちわ祭り、紅葉狩り、等） ・公共機関（電車）を利用した遠足、フードコート等を利用した外食レク、事業所内での調理レク ・公共施設（水族館、動物園、博物館、等）を利用した外出		